

都島だより

発行責任者

都島クラブ代表 (CI40)

菅家 亘通

一般社団法人浪速工業会
都島クラブ会報

2021年(令和3年)4月 第62号

事務局 馬江 治喜

〒234-0056

横浜市港南区野庭町696-6

TEL045-841-8885

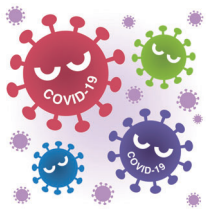
E-mail har1942umae@iris.ocn.ne.jp

題字デザイン A28(故)岡田宏三氏

NEWS62号

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ・現在会員数 ◆ 合計431名

◆M・機械81名、ME・機械電気25名◆A・建築79名◆E・電気・電子工学146名◆C・土木・都市工学33名◆CI・工業化学・理数47名◆L・普通12名◆工専8名

新型コロナウイルス
にご注意

(一社) 浪速工業会・都島クラブの会員の皆様、昨年は新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。如何お過ごしでしょうか。残念ながら、今年こそは、と気持ち新たにするにはもう少し時間がかかりそうです。この原稿を起こしている1月末時点では、世界的に接種が始まったワクチンについて、日本国内の一部で、接種を前に大規模訓練が始まったばかりです。先般オンライン(Zoom)によるミーティング幹事会を開き、次期総会、今後の行事予定について検討して頂きました。詳細については本紙事務局よりのお知らせをご参照いただきますが、集会や飲食による3密のリスクを避けるため、引き続きほとんどの行事について中止、延期を採択する事になりました。どうかご理解賜ります様お願い申し上げます。今後は感染の状況を見ながら実施の可能性を探って行く方針です。まだまだ予断を許しません、晴れて又、笑顔でお会いできます日を待ち望みながらご挨拶と致します。ご自愛下さい。



CI40

菅家

亘通

浪速工業会・都島クラブ
代表ご挨拶

令和2年度

一般社団法人浪速工業会・都島クラブ

総会・懇親会は中止とさせていただきます。

平成30年度 都島クラブ総会集合写真
令和元年5月11日(土)開催

都島クラブ総会・懇親会
中止のお知らせ

事務局より

昨年の総会は緊急事態宣言の為に中止しました。1月21日の幹事会は緊急事態宣言の為に、始めてZoomにて開催し、次回の総会の件を討議した結果、今年も総会・懇親会は中止と決定しました。しかし、3月末の年度決算締切り後、例年総会で報告している、役員紹介、会計報告、行事報告、行事予定をこのMニュース62号と一緒に送付します。5月末までに事務局へ届く様に、返信の程宜しくお願い申し上げます。その結果をMニュース63号に記載させていただきます。会員の皆さまのご理解、ご協力の程宜しく申し上げます。



会費納入のお願い

事務局より

毎年5月中頃本部より浪速工業会会報と一緒に送付している会費振込用紙で会員の皆様が本部へ送金して頂いている3000円の内1000円が都島クラブへ還元されますが、一昨年4月より郵便振替手数料等が大幅に値上げとなり、900円が還元となりました。それに加えて、都島クラブの会員が徐々に減少しており、ますます還元金が減っているのが現状です。都島クラブはこの還元金にて同窓会活動をしており、今年には新型コロナの影響で7月頃に会費振込用紙が送付されると思います。何卒、浪速工業会、都島クラブの活動を絶やさない為に送金して頂きます様ご協力の程宜しく申し上げます。

Mニュースの配信の変更依頼

(宅配便から電子メール
添付への切り替え)

事務局より

従来Mニュースは宅配便により配信していましたが、宅配費の高騰により、経費節減のため、電子メールアドレスをお持ちの方には電子メールにPDFファイルで添付して送付させていただきます。

ついでには事務局へメールアドレスをご連絡をいただきますようご協力のほどお願い申し上げます。

事務局メールアドレスは

har1942umae@iris.ocn.ne.jpです。



麗しの島・台湾 第2回

A 27 田中 瑛也



●日月潭・文武両道を説く儒教の殿堂

民間信仰であった馬祖信仰が、道教に取り入れられ加えて仏教が、加わり混然一体の宗教が台湾の宗教であると、既述したが台湾に居住する人々の98%は、出自は異なるが漢民族である。彼等の日常生活を営む為に必要な規範は、孔子を祖とする儒教の教えに基づく。台中から日月潭【写真1】への道は、舗装が不完全な古道で車は揺れに揺れ、次第に高地を目指し登っている感覚が芽生えた頃、前面の窓外に青い湖面を陽光が注いでいる視界を捉える。湖と豪華な宮殿風の廟の間に設けられた駐車場で、車を降り文武廟と標識が書かれた門をくぐり文武廟に入る。湖を見下ろす斜面に建つこの廟は、文の神孔子、武の関羽と岳飛を祀る廟、大衆に公開された廟、観光廟であるが故に人目を惹く豪華な建物の構え、人々を出迎える正門の構えから重々しい屋根、斜面を利用して湖の風景を味あうような立地条件と目的から設けられた廟だけに階段を登り内部を参詣する。本殿入り口に在る一対の赤獅子は、日本の神社では狛犬と同じく本殿を護るマスコットの任務を担う。文殿と武殿の廟の合間に置かれた金の玉をとり巻く九頭の龍の彫刻も台湾一の規模である。廟内は、赤い柱が立ち並び、金色の孔子像【写真2】、関羽・岳飛像、円天井も金色に輝き明色の飾れた空間は、白木を基調として築か

れた神社に常日頃詣でている我々にとって、色彩の違いに心の落ち着きをしばし失う。もともと我が国でもお稲荷様の鳥居も赤、日光東照宮の神殿も極彩色とその他にも彩色豊かな神社、仏閣は存在するが、少数派である。付け加えるにお稲荷様信仰は、歴史は古い我が国に稲作をもたらした渡来系民族の所産であるし、東照宮に到つては徳川幕府初期の創建であるから、比較的新しい。文武廟の最高段にある物見台から湖面を展望する。オレンジ色の瓦で葺かれた廟の屋根群、前方に広がる淡水湖の水面で構成する画面は、人工と自然との調和、中庸を得た感を得る。因みに中国人は彼等の持つ古代神話、伏羲、神農、黄帝と伝わる神話の中で黄帝の黄に基づいてこの色を尊び北京の故宮の宮殿を範とするように、黄色の屋根を公共の建物に用いるが、儒学の殿堂である日月潭の廟がオレンジ色であるのは、台湾人のナショナルティの発露か、と思うは論者の推測の域を脱しない。昼食は長閑な野鴨谷のレストラン、お店の主人は、饗饌とした九十才の小柄な老人。日本語が流暢で日本軍の一兵卒として60年前インドネシアでの戦闘に従軍したと話す。「何故日本敗れたの?」と問いかける。超親目的な態度に驚く。車は、高速道路を南へ、台南市へと向かう。



写真1・日月潭



写真2・金色の孔子像

●台南 鄭成功 国姓爺合戦の場

台中から高雄まで、日月潭の見学を含んだの一日450kmの距離を走る。台湾の歴史を形成した遺跡を追跡する最も充実した日である。その歴史の口火を切つて先ず台南を訪れる。台湾人は、自国の都市の国内での位置づけを日本の都市の位置づけに例える。台北を東京、台南を京都、高雄を大阪、又面積(36190km²)と九州に略近いので、台北を福岡、台南を熊本、高雄を鹿児島に例える。台湾島は、西部の平野に主要都市が偏り、東部は山岳地帯が攻め占め、都市の規模は小規模である。この島には2万年前より人類が生を営んだと伝えられ、史実として明らかなのは、AD3世紀に太平洋南方の洋上のポリネシア諸島から黒潮に乗り漂流しつつこの島に辿り着き、続々とポリネシア諸島の諸民族が定住するようになった。移住当初は種族間の抗争もあったが、中国本土からの移民の定住人口が増加するにつれて平野に居住していた先住民族は、次第に技術、商いに秀でていた中国からの移民に高地へと追いやられた。後世、日本統治下では、これら高地に居住する種族を総称して高砂族と呼んだ。AD1544年西欧諸国の中でも最も東アジアへの侵出が早かったポルトガルがこの島の存在を認識し、以降他の列強諸国、スペイン、オランダがこの島の開発に乗り出した。AD1622年オランダが台湾南部を、AD1624年スペインが台湾北部を植民地と化した。しかしAD1661年明の將軍鄭成功が全島を奪還した。鄭成功という人物は、我が国長崎、平戸の田川七衛門の息女を母として、中国明の將軍鄭芝龍を父としてAD1624年この世に生を授かった。彼の生涯は、14才で

南安県の学院生、20才で南京の大学に入学、大学在学中のAD1644年に明は滅亡した。彼は学者になる道を断念して、武將鄭芝龍に従つて新興国家清の勢力を滅ぼし、明再興を期する拠点を台湾と定め、台湾奪還を目指し島南部、台南に占拠していたオランダ軍を駆逐するために、兵25000人を率いてAD1661年に上陸する。スペインの占領していた北部は、オランダ軍がAD1642年に島から追い出した。鄭成功の一隊は、AD1661年にプロビデンスヤ城を、翌年オランダ軍の本拠ゼーランジャ城も陥落させ、38年間に及んだオランダの台湾統治に終止符が打たれた。台湾奪還の目的は遂げられたが、明再興の思いは達せず若年39才で夭折した。その後中国政争の経緯は、明の内部で諸將が国家再興との志を同じくせず、清に寝が入りする將軍が続出して異民族満州族の支配下に陥つた。しかし鄭成功が西欧諸国より東洋民族の手に台湾を委ねる先鞭をつけ、後年清が東アジアの先駆けとなったことは、否定しえない歴史的事実であり、後世の人々から鄭成功が尊敬の念を持つて崇められる由縁である。我が国においては、日本人との混血での所以で、江戸期の高名な劇作家近松門左衛門の著した「国姓爺合戦」の題名で歌舞伎、文楽の演目の一つとして現在に到るも人口に膾炙している。写真は彼の居城、赤嵌楼【写真3】を示している。次いでプロビデンスヤ城を訪れる。オランダ人が築いたプロビデンスヤ城という名のこの城は、記念館として遺されている建物はAD1906年に再建された建物で、オランダ人がプロビデンスヤ城として築いた部分の遺跡として遺されているのは、破壊崩壊した城壁の一部分で、積み上げ

られた焼成煉瓦、目地は蜂蜜と黒砂糖を練って接着剤として用いているので、モルタル目地の様に目地の線は明確でない。再建された中国建築風の楼閣の内部に設けられた展示室には、中央に大きく鄭成功の肖像が掲げられ、その時代の歴史的遺品が展示されていたが、心に遺ったのは、ホール中央に置かれた日本人、八田与一(1896-1942)のブロンズ像【写真4】である。彼は、土木技師として鳥山頭にダムを築き、干ばつ、洪水に悩む嘉南地域の農民を救済した。AD1920年に着手しAD1930年に完成したこのダムは、当時東洋一の規模を誇った。しかし八田技師は、AD1942年日本軍の召集を受け、戦地フィリピンに赴く途上に彼の乗っていた輸送船が、米海軍の魚雷を受け不帰の人となった。この像の前で台湾人のガイドは日本人から受けた恩恵に謝意を表す。太陽の光に映える庭園の中央には、鄭成功とオランダ人との講和が成り立った光景を彫像にした像が立つ。その彫像にそそぐ陽光を遮るように椰子が林立する。台湾に育む椰子には、三種類の椰子がある。一つは、ココナツ椰子、ココナツの実を成熟させ。一つは、背は伸びるが実を付けない台湾椰子、馬鹿椰子とも云われる。そして濱郎椰子と呼ばれる椰子は背の高さは大きくないが、濱郎と言う名



写真3・赤嵌楼



写真4・八田与一のブロンズ像



写真5・延平郡王祠



写真6・鄭成功の像

の実をつけ、その実は覚醒剤として実を愛用する人は嘔む。市中には濱郎、売店の看板をよく見かけるが、この実を指すのだと納得する。車で十分もかからない近距離に整然と整備された芝生の前庭がある延平郡王祠に着く。延平郡王祠【写真5】英雄鄭成功の祀られる廟、かつてこの地を統治した日本の台湾総督府は開山神社として鄭家一族を手厚く奉った。その名の由来は、鄭家が台湾を支配した抗清復明の期、僅か16年の期間(1661-1663)ではあったが、開山王朝と名づけられたその名に由来する。土で築かれた赤い漆喰塗りが施された土塀、門の額には明延平郡王祠と書されている。手入れ行き届いた廟、調和した緑の木々の配列された中庭を赤い柱と梁で組み立てられた回廊が取り囲む。正殿中央には、荘厳な面立ちの鄭成功の座像、この本殿中央の場にかぎり黄色の垂れ幕と鄭成功の緑衣とが赤色でない故に心が落ち着く。脇の回廊には、長崎平戸田川家の位牌が並ぶ。赤い鄭成功の像【写真6】、位牌と室内空間は赤一色、道教の寺院ではあるが、この赤色好みは東洋のみならず、新約聖書ヨハネの黙示録に「目は燃えさかる炎、顔は照りかがやく太陽の様である。」と記されているから宗教での赤色信仰は東西の軌を一にする。鄭成功の偉業の話で、台湾民族形成の足跡の話は中断したので、こゝで話

を戻すが、鄭成功の死後、清がこの台湾を統治したが、中国本土福建省からの移民は続き、彼等は台湾省民として共同意識を持ち、国家としての礎を形成した。既述したが、先住民の他に中国からの渡来系ではあるが、中国系居住民の一割前後の客家系の人々が、存在する。客家はよそ者との意味ではあるが、漢民族の発生の地中原の民の気風を遺す。伝えられる史実によると、唐末期874年に起きた黄巢の乱を逃れ各地に拡散したと云われ、司馬遼太郎の説によると、孫文もその流れを汲み、祖の郷土を捨て散らばった意識は、中国全体を自分の育った地域に限られず、見回すことが出来る。換言すれば、私よりも公を重んずるスケールの大きい人物がいる。と客家の人々を評しているが、台湾へは福建省からの大量移民に遅れて入り、独立独立の志を懐く客家の人々は支配者清王朝に抗して漢民族の威厳を持ち続けて今日に到った。以後台湾への移民は、第二次大戦後の国民政府の台湾での中華民国成立時であるが、熱気を帯びたこの話題は台北での中正記念堂、忠烈祠訪問時に述べたい。要するに台湾の人口は2273万人の約2%が先住民で、残りの98%が中国からの移住で1945年以前の居住者が本省人でその人々の約10%が客家人1945年国民政府の台湾で政務を執る期以降に移住した人々を外省人と呼ばれ、本省人と外省人との構成人口は、おおよそではあるが、本省人85%、外省人15%である。

※次号へ続く



スペイン語とスペインの魅力

★米田 博美氏 (M41) 略歴

昭和41年 (1966) 大阪市立都島工業高等学校 機械科卒業
 昭和46年 (1971) 天理大学外国語学部イスパニア学科卒業
 昭和47年 (1972) マドリード・コンプルテンセ大学文哲学部留学
 昭和55年 (1980) 青山学院大学経済学部第Ⅱ部経済学科卒業
 昭和49年 (1974-2014) メキシコ大使館公式翻訳官としてメキシコ外務省入省
 昭和58年 (1983) 青山学院大学、駒沢大学兼任講師(30年間両大学に勤務)
 平成26年 (2014) 神奈川大学外国語学部スペイン学科兼任講師 現在に至る

2013年「A&H翻訳サービス」(日英独仏中スペイン語)を大学教員と結成し、主に日本語-スペイン語-日本語の経済関係の翻訳業務を行う。
 日墨関係等を主とした論文、訳書、出版物等を発表
 日本ラテンアメリカ学会会員

講師 M41 米田 博美氏
 内容 『スペイン語とスペインの魅力』
 開催日 未定
 開催時間 未定
 開催場所 未定

Mニュース61号に記載していますが、今年の2月から3月に講師はM科41年卒業の米田博美氏に「スペイン語とスペインの魅力」の内容で、第8回MMSを開催する予定でしたが、この新型コロナの影響で延期しました。新型コロナウイルスの状況が落ち着き次第に講師米田氏と日時を相談の上でMニュースにてご報告いたします。



MMS08
 開催延期
 御案内

第8回MMS 開催延期の件

MMS実行委員会

コロナ禍での 陶芸会開催報告



A 57 信原 利行

毎年恒例の青薈会主催の陶芸会ですが本年は新型コロナウイルスの影響もあり、開催が危ぶまれましたが11月7日(土)にA 46 柚木寿雄氏の「くにたち自游工房」にて開催しました。参加者はA 57 信原・中谷氏の2名でしたが、工房にいらつしやつた他のグループの方々と一緒に来年の干支の丑を柚木氏のレクチャーのもとで製作しました。私は今年の春に工房でコロナ退散を願って作った「アマビエ」の作品を受け取りました。



くにたち自游工房にて、マスクをして記念撮影



参加者の作品・丑



信原制作のアマビエ



都島クラブ幹事会

Zoomトライアルの模様

E 36 石垣 英明

いつも幹事会で使用していた六甲クラブの会議室が、政府による緊急事態宣言をうけて、2月7日まで閉鎖されることになった。2020年度総会をどのようにするのか、幹事会で早急に決める必要があつて、事務局から対面による会議ができないので、代わりにテレワークでよく使われているZoom(ズーム)によるオンライン会議の打診がなされた。Zoomアプリによる参加の可否について幹事に諮ったところ、11名の幹事から参加表明があつた。私は、Zoomによる会議参加は何度も経験があり問題ないですが、ホストでZoom会議を主催するのは初めてのため、トライアル(試行)することにした。1月21日の幹事会前日1月20日午後6時にミートすることにして、4名の方にトライアル参加を呼びかけた。トライアルはうまく接続できなくて、かなりてこずつた。私の個人用ミーティングIDではうまくいかないことが判明、一般用Zoomアプリに切り替えた。PCのデスクトップアプリはOKだったが、スマホアプリの接続は少し問題が残つた。しかし一応使えると判断し、1月21日に本番を実施することにした。招待メールを午後6時の10分前から一人ずつ送信した。私を含めて11名の参加によりオンライン幹事会を実施した。本番では映像・音声ともOKで会議の進行もうまくいき有意義な幹事会でした。初めてZoomに参加した幹事もおられて、使用方法について戸惑つておられましたが、慣れるにしたがつて問題が解決され、対面会議の代わりに使えることを確信しました。今後会員の皆様にも参加をよびかけ、コロナ禍、Zoomを都島クラブで広めていければと願います。



Zoom オンラインミーティング



参加者(画面左上より・敬称略)
菅家、石垣、前田、西口、
馬江、中谷、信原、芳仲、
笹治、松井、竹村(参加者11名)

Zoom



母校・本部の現状について

事務局より

例年総会には本部より理事長、母校より校長先生がご来賓としてご出席賜り近況報告をして頂いています。今現在の本部、母校の状況を吉川理事長、柘原校長先生を交えてお話をZoomにて開催する予定です。開催日時については後日メールにて事務局よりお知らせします。Zoomにてのお話会となりますので、パソコン、スマホをお持ちの会員で、希望者は事務局へメールアドレスを早めにご連絡ください。既にメールアドレスを登録して頂いている会員にMニュースをPDFで送付しますので受信できた会員のご連絡はご無用です。

事務局メールアドレスは

har1942umae@iris.ocn.ne.jpです。



訃報

C27年卒	前川 一朗氏	不明
E31年卒	新里 勝弘氏	2020年7月6日
CI37年卒	齊藤 信也氏	2020年6月1日
M38年卒	仲西 正氏	2020年4月7日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

皆様の原稿をお待ちしています！
事務局までお送り下さい。

開催日 11月14日(日) 14時開演
開催場所 浅草見番(台東区浅草3-33-5)
料金 金 未定
お問い合わせは 事務局・馬江まで
卒年、氏名、参加予定人数を電話又はEメールにてお問い合わせ下さい。
TEL 080-6516-7576
Eメール har1942umae@iris.ocn.ne.jp
申込期限 11月7日(日)



桂米左東京公演のお知らせ

事務局より

桂米左 独演会



浅草見番

東京公演を22年連続開催していましたが、昨年は新型コロナで途切れてしまいました。今年は11月14日(日)に浅草見番にて開催する連絡を頂いています。ご希望の会員は11月7日(日)17時までに事務局へお申し込みください。